

# 宮城県感染症発生動向調査情報

2023.2.20 ~ 2023.2.26 - 第8週 -

令和05年03月02日発行

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第5週	第6週	第7週	第8週
水痘	1 0.25					7 0.26	8 0.14	35				
流行性耳下腺炎						1 0.04	1 0.02	9				
感染性胃腸炎	75 18.75	68 6.80	30 4.29	36 4.50	2 1.00	201 7.44	412 7.10	3,361	◎	◎	◎	◎
手足口病							0 0.00	6				
伝染性紅斑		1 0.10					1 0.02	7				
突発性発しん		1 0.10	2 0.29	6 0.75	1 0.50	3 0.11	13 0.22	114				
ヘルパンギーナ							0 0.00	0				
インフルエンザ	31 4.43	42 2.63	27 2.45	49 3.77	29 7.25	238 5.41	416 4.38	2,485	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱						5 0.19	5 0.09	63				
流行性角結膜炎		1 0.33				1 0.17	2 0.17	16				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.25	1 0.10		4 0.50		6 0.22	12 0.21	135	レ	○	○	レ
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 0.50				1 0.08	2				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎					1 1.00		1 0.08	4				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	6 1.50	1 0.10		18 2.25		8 0.30	33 0.57	227	レ		○	○
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)				4	1						
	川崎病					2						
	不明発疹症					1						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性1名  
仙台管内 男性1名、女性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 女性1名  
仙台管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 男児1名※  
梅毒  
仙台管内 女性1名(第7週)、女性1名

※男児は6歳未満

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 1,607名  
仙台市 1,076名

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報はありません。

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

大崎管内 第7週採取分 インフルエンザAH3 1件  
気仙沼管内 第7週採取分 インフルエンザAH3 2件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第7週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 中 間 報 告		
	第5週採取分 (1.30~2.5)	第6週採取分 (2.6~2.12)	第7週採取分 (2.13~2.19)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	3件	0件

## 4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第8週の新型コロナウイルス感染症患者数は2,683名と8週連続で減少しています。インフルエンザ患者数は全国的に6週をピークに2週連続で減少していますが、県内では、416名とほぼ横ばいで推移しています。また、石巻、気仙沼管内で増加しているため今後も注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザともに基本的な感染対策が有効です。引き続き感染予防の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の491名から412名に減少しています。しかし仙南、塩釜管内で増加していることから今後も注意が必要です。宮城県保健環境センターに搬入された感染性胃腸炎の検体からはノロウイルスが検出されていることから、感染者の便や吐物の処理には次亜塩素酸ナトリウム溶液(薄めた塩素系漂白剤)を使用し、調理・食事の手洗いなど、日常生活での予防対策を徹底してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

